



# のびのび

No.92

2010年12月1日発行

発行所：医療法人ふるかわ医院

〒619-0221

京都府木津川市吐師宮ノ前 15 - 18

Tel/0774-75-2650 fax/0774-75-2651

予約専用電話☎0774-75-2652

<http://www.furukawa-i.in.jp>

## 感染性胃腸炎が流行中

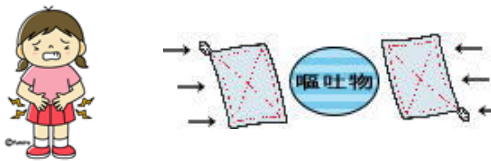


11月の中旬から、下痢・嘔吐をおこす感染性胃腸炎が流行しています。他に、腹痛・発熱などの症状があります。原因は、ノロウイルスが疑われます。

ノロウイルスのついた食物を食べたり、病気になった人の吐物や便が口に入り感染します。潜伏期間は、半日から6日です。感染力が強く、家族内や保育所内での集団感染もあります。

治療法は、整腸剤と脱水の補正です。昔は点滴をしていましたが、今は口からの経口補液が主流です。口から電解質液(ソリタ顆粒など)を飲むと、点滴と同じ効果があります。

食事の前の手洗いが重要です。病人のおむつからの接触感染もあります。それらに触る時は、使い捨ての手袋やマスクを使った方がいいでしょう。症状がなくなっても、1-2週間程度はウイルスが便の中に出るため注意してください。



吐いたものはぼろ布などで内側に向かって包むようにふき取ります。(この時ゴム手袋をした方が良いです)一度拭いた面で、再度拭くと汚染が広がりますので気をつけて!!その後、家庭用漂白剤(200倍程度にうすめる)で広範囲に消毒してください。

嘔吐物や下痢便などで汚れた衣類は大きな感染源です。そのまま洗濯機で他の衣類と一緒に洗うと洗濯槽内にノロウイルスが付着するだけでなく他の衣類にもウイルスが付着してしまいます。嘔吐物や下痢便で汚れた衣類はまずバケツで水洗いします(その時マスクとゴム手袋をする)。その後塩素系消毒剤(家庭用漂白剤では200倍程度にうすめる)で消毒します



処理に使ったゴム手袋やぼろ布もビニール袋に入れ、汚物同様、密封し処分します。

流行期には感染の機会はいたるところにありますし、また症状を持ったまま保育園、幼稚園、学校などに登校させることによりその子どもが感染源となって周囲の子ども達に感染が広がっていき、それが又各家庭に広がり、地域内で広がっていく事は理解しておいてください。



家庭用漂白剤は  
ハイターやミルトンなど・・・

処理が終わったら、すみやかに手を洗います。